

FPが解説！ 授業で使えるくらしとお金の知識

VOL.1 2023.10.10

人生は選択の連続

人生設計や生活設計と日本語では置き換えられる「ライフプラン」。

私たち一人一人は、これまでいろいろな分岐点での選択を経て、今の自分にたどり着いています。有限な時間をどのように幸せに楽しく、たった一度きりの人生を過ごそうと考えていますか？

小・中・高等学校を経て、大学などへ進学するのか就職するのか、地元で生活するのか、それとも別の場所で生活するのか、素敵な人と出会い幸せな家庭を築くのか、趣味を通して人との繋がりを楽しむ時間を大切にするのか、仕事を通じて社会に貢献できる人になるのか、人生は選択の連続です。学生時代には想像できなかった未来になっていることを、多くの生徒・学生を見てきた先生であれば、より実感されるところではないでしょうか。



なぜライフプランが必要なのか

人生の選択が積み重なって、今の自分の生活がありますが、なぜライフプランやお金の計画が必要なのでしょう？

1つめは、「自分や家族をお金のリスクから守るため」です。ケガや病気、そして失業、万が一の死亡ということも日々の生活ではあり得ます。

2つめは、「健康に長生きするため」です。平均寿命や平均余命が長くなってきていることで、生きている間にお金に困らないよう、お金の寿命も延ばしておかなければなりません。

3つめは、「ライフイベントの大きな支出に備えるため」です。旅行や留学をしたい、家や車を買いたい、子供のための教育資金を用意したい、自分が学び直すためのお金を用意しておきたいなど、人生をより豊かに過ごすための出来事にかかる大きなお金の準備が必要です。

時代の流れや変化のスピードは今までのどの時代よりも早くなっているかもしれませんが、人生の地図とも言えるライフプランを立て、将来自分が迎える可能性があるイベントへの準備、そして途中で困難が起きても乗り越えられるように備えをしておくことが重要です。そして、ライフプランを考え、お金の準備をするのと同時に「資産形成」をしていく必要が出てきます。

資産形成とは？

資産形成の方法には「貯蓄」と「投資」の2つがあります。限りなく金利がゼロに近い預金だけにしておくのではなく、投資信託や株式、その他の金融資産などへ投資して運用しながら、一步一步、時間をかけて「貯蓄+投資」をしていくことが資産形成と言えるでしょう。投資をして運用することで、私たちが仕事をしながら生活している間にも、「お金にも働いてもらっている」状態を作り出すことができます。また、スーパーで食品や生活必需品を買うのにも昨今の物価上昇を目の当たりにしていると思います。今までと同じものを買うのに支払いが多くなることで、実質的には手持ちの預貯金が目減りしています。今後の物価上昇にも対応しながら人生の航路を上手に進んでいくために、資産形成がより必要になってきます。ライフプランが人によって様々なように、必要な金額も人それぞれです。自分に必要な金額を知り、ライフプランに合わせた資産形成を行うことが大切です。資産形成を後押しする制度として、イギリスやアメリカなど海外を見習いながら一般NISA、つみたてNISA、iDeCoが創設されましたが、2024年からは新しいNISAがスタートするなど、より良い制度や環境が日本にも整いつつあります。

生徒・学生になにを伝えていくか

若いうちは長い目で将来を考えるとというのは私の経験からも難しいものではありませんが、「教育・仕事やキャリア・恋愛と結婚・家族・社会貢献や人との繋がり・物質的な豊かさ・老後の生活」などを少しでも考えておくことが大切だということが、生徒・学生の皆さんの頭の片隅に残るようにお伝えしておくことが重要です。私も小学生と保育園の2人の子供を持つ親なので、その都度伝えていこうと考えています。



執筆者：栗原 良明 (CFP®認定者)

青森県をはじめとする地方公共団体、企業、各種団体、専門学校などにて、ライフプランやお金の知識を伝えるFPとして活動中。家計見直しは生活者目線を心掛け、自身の十数年の経験を元に、若いうちから資産形成について考える大切さを伝えている。最近では、Uターンの経験を活かした首都圏在住者向けの移住とお金に関するセミナーなどに多数登壇。



本メールマガジンの無断転載は学校の授業での使用を除き、固くお断りいたします。本メールマガジンの内容は執筆時の法令・税制等に基づいて作成しています。